

# 第8回 Issue駆動開発② 一気通貫 + 卒業制作

Phase 3 | Issue駆動開発 / 講義2h + ワークショップ6h

## この回のねらい

- 第1～7回の総まとめ。**Issueからマージまでの完全フロー** を通す
- チーム運用（**属人化の解消**・誰でも参加できる開発）まで視野に入れる
- 卒業制作として **1サイクル完遂** する

## 完全フロー（総まとめ）

- ① Issue作成（構造化）
- ② AIが方針提案 → ③ ゲートレビュー
- ④ 実装 → diffレビュー
- ⑤ 動作確認（ローカル） → チェックリストでIssueに記録
- ⑥ PR作成 → ⑦ 最終レビュー → ⑧ マージ

## チーム運用とスケール

- 全経過がIssueに残る → **誰でも（経験の浅いSE/PMでも）引き継げる**
- 「AIも人も交代可能」 = **属人化の解消**
- スケール：複数エージェント × **Worktree** × Issue並列

「夜にIssueを一斉割り当て、翌朝レビュー」の働き方

## ワークショップ（6h） — 卒業制作

各自、実務（または擬似案件）で **Issue駆動開発** を1サイクル完遂：

1. 構造化Issue作成
2. AI方針提案 → ゲートレビュー
3. 実装 → 動作確認（受け入れ条件をチェック）
4. **PR作成** → **マージ**
5. 相互発表・「明日からどう運用するか」を宣言

# 回のゴール（修了）

実務でIssue駆動開発を **独力で1サイクル完遂** でき、  
**チームへ展開する道筋** を説明できる。

修了判定：Issue→マージを独力で通せた／ゲートレビューで品質担保／第三者が経緯を追える